

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりま

地元の声

- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・道路が狭く、すれ違いに支障があるので、円滑に通行できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 長野原町与喜屋～孺恋村鎌原
- 事業内容: バイパス整備 延長 8.5km 道路幅 9.5m
- 事業期間: 令和元年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第一次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当

- 現在の交通量: 10,095台/日(国道144号)(R3年度)
- 計画交通量 : 4,200～8,900台/日(バイパス)(R22年度) 300～4,300台/日(国道144号)

事業前

- ◆ 線形不良箇所が38箇所あり、見通しが悪く交通事故のおそれがあるとともに、雨量規制や土砂崩れにより通行止めが過去に6回発生しています。(H19～R3)



国道144号幅員狭小状況



H28年 倒木による通行規制

事業後

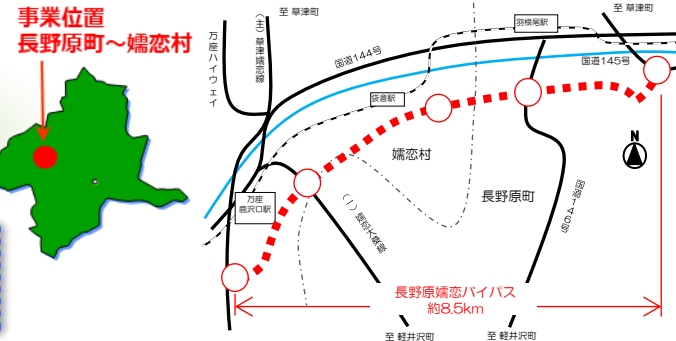
- ◆ 幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆ バイパスを整備することで、災害時や事故等が発生した際の孤立化リスクが軽減され、利便性も向上します。



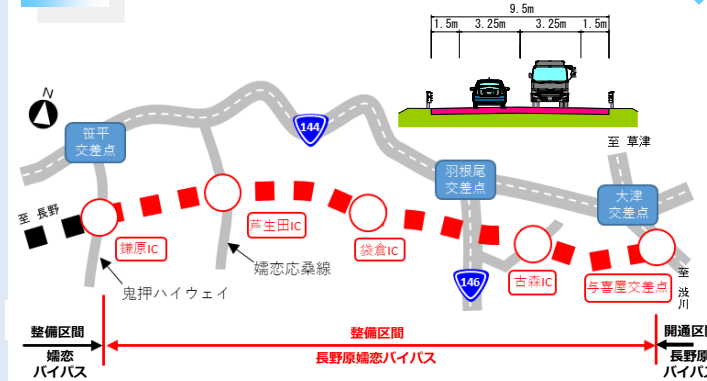
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
災害時等の孤立化リスクの解消	現道通行規制 H19～R3 : 6回
線形不良箇所	38箇所

実施後(目標)
バイパス完成により解消
バイパス完成により回避



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は引き続き用地取得を進めるとともに、橋梁工事を進める予定です。

